

第 29 回 幹 事 会

平成 18 年 11 月 22 日

日 本 学 術 会 議

配布資料

資料 1 議事次第

資料 2 出席者一覧

資料 3 非公開審議事項

資料 4 第28回幹事会議事要旨

資料 5 諸報告事項

資料 6 審議事項

資料 7 学術とジェンダー委員会報告
「提言：ジェンダー視点が拓く学術と社会の未来」

参考 1 「個人情報の保護に関する法律」施行に伴う日本看護科学学会の見解

参考 2 課題別委員会の対外報告について

参考 3 日本学術会議における今後の予定

参考 4 平成19年5月～平成19年12月までの幹事会等日程（案）

第 29 回幹事会議事次第

日 時 平成 18 年 11 月 22 日 (水) 14:00～

議 題 I 非公開審議事項

1 委員会関係

- ・ 移転検討委員会の委員の決定 (提案 1)
- ・ 科学と社会委員会科学力増進分科会科学技術リテラシー小委員会の設置及び委員の決定 (提案 2)
- ・ 国際委員会における分科会及び小分科会の設置及び委員の決定 (提案 3)
- ・ 分野別委員会における分科会、小委員会の設置等及び委員会等の委員の決定 (提案 4)

2 外部推薦依頼

- ・ 日本国際賞推薦有資格者の推薦 (提案 5)

II 前回幹事会以降の諸報告

III 審議事項

1 対外報告

- ・ 学術とジェンダー委員会報告 (提案 6)
「提言：ジェンダー視点が拓く学術と社会の未来」

2 代表派遣

- ・ 平成 18 年度代表派遣 (平成 19 年 1～3 月実施分 (提案 7))
- ・ 第 1 回ウブンドゥ R C E 推進委員会への会員の派遣 (提案 8)

3 委員会主催シンポジウム等の開催

- ・ 公開シンポジウム「人文社会科学の役割と責任を問う」の開催 (提案 9)
- ・ 薬学教育六年制元年記念シンポジウム「新しい薬学教育のめざすところ」の開催 (提案 10)
- ・ IYPE シンポジウム「国際惑星地球年 2007～2009」(仮題)の開催 (提案 11)
- ・ シンポジウム「21 世紀の社会における学協会への期待」—「日本化学連合(仮称)」創設に向けて—の開催 (提案 12)
- ・ 公開講演会「自然環境資源を活かした市民協働」—自然空学ぶ環境市民—の開催 (提案 13)
- ・ 「国際極年」開幕シンポジウム「国際極年におけるアジアの連携」の開催 (提案 14)

4 後援

- ・ 国内会議 (提案 15)
- ・ 国際会議 (提案 16)

IV その他

資料 2

第 29 回 幹事会（11月22日）出席者一覧

会 長	金 澤 一 郎
副会長	土 居 範 久

第一部	部長	広 渡 清 吾
	副部長	佐 藤 学
	幹事	江 原 由美子
	幹事	小 林 良 彰

第二部	部長	唐 木 英 明
	副部長	北 島 政 樹
	幹事	鷺 谷 いづみ
	幹事	山 本 雅

第三部	部長	海 部 宣 男
	副部長	小 林 敏 雄
	幹事	河 野 長

事務局	西ヶ廣 局 長
-----	---------

第 28 回幹事会議事要旨

日 時 平成18年10月26日（木） 14：00～16：00

場 所 日本学術会議大会議室

出席者 （会長） 金澤 一郎

（副会長） 浅島 誠、鈴木興太郎、土居 範久

（第一部） 広渡 清吾、佐藤 学、江原由美子、小林 良彰

（第二部） 唐木 英明、北島 政樹、鷺谷いづみ、山本 雅

（第三部） 海部 宣男、河野 長、小林 敏雄

（事務局長） 西ヶ廣 渉

（課長） 會田 雅人、佐野 美博

（参事官） 神代 浩、菱山 豊、村田 啓子

審議事項等

- 1 非公開審議事項について審議が行われた。
- 2 諸報告事項として唐木第二部長から国際委員会日米学術交流分科会派遣報告、西ヶ廣事務局長から ICSU 分担金構造改定部会報告があり、分担金について意見交換が行われた。
- 3 審議事項1の提案11については、学術研究団体の連合体の要件として、3つ以上の「協力学術研究団体」で構成されていることを、3つ以上の「協力学術研究団体」を含む学術研究団体で構成されていることに修正が加えられた上で承認された。

提案13については黒川清前会長を派遣者に加えて欲しい旨、提案があり承認された。

その他の提案については原案どおり承認された。

第28回幹事会議事次第

日 時 平成18年10月26日(木) 14:00～

議 題 I 非公開審議事項

1 委員会関係

- ・ 日本学術会議憲章起草委員会の設置及び委員の決定(提案1)
- ・ 移転検討委員会設置要綱案(提案2)
- ・ 国際委員会における小委員会の設置及び委員の決定(提案3)
- ・ 科学者委員会学術体制分科会の委員の決定(提案4)
- ・ 分野別委員会における分科会、小委員会の設置等及び委員会等の委員の決定(提案5)
- ・ 子どもを元気にする環境づくり戦略・政策検討委員会の委員の決定(提案6)

2 外部推薦依頼

- ・ KAVLI 財団による「KAVLI 賞(精神科学部門)委員会」の委員推薦手続きについての合意及び委員の推薦(提案7)

II 前回幹事会以降の諸報告

III 審議事項

1 一部改正等

- ・ 科学者委員会運営要綱の一部改正(提案9)
- ・ 日本学術会議協力学術団体規程の一部改正(提案11)
- ・ 平成18年度日本・カナダ女性研究者交流事業実施要綱案(提案12)

2 平成18年度代表派遣12月追加分(提案13)

3 第6回産学官連携サミットの開催(提案14)

4 日本学術会議地域振興フォーラムの開催

- ・ 近畿地区(提案15)
- ・ 東北地区(提案16)

5 委員会主催シンポジウム等の開催

- ・ 「エネルギーと地球温暖化に関するシンポジウム」(提案17)
- ・ 公開シンポジウム「魅力的都市構築のための都市・屋上緑化」(提案18)
- ・ シンポジウム「現代の研究倫理—責任ある研究調査とは何か—」(提案19)
- ・ 「宇宙利用シンポジウム2007(第23回)」(提案20)

6 国内会議の後援(提案21)

IV その他

諸 報 告 事 項

第 1	前回幹事会以降の経過報告	P. 1
1	会員の異動	P. 1
2	審議付託等	P. 1
3	賞等の推薦	P. 1
4	会長等出席行事	P. 1
5	日本学術会議主催公開講演会の開催	P. 2
6	産学官連携サミットの開催	P. 2
7	委員会委員の辞任	P. 2
第 2	各部・各委員会等報告	P. 3
1	機能別委員会の開催とその議題	P. 3
2	分野別委員会の開催とその議題	P. 3
3	課題別委員会の開催とその議題	P. 7
第 3	総合科学技術会議報告	P. 9

第1 前回幹事会以降の経過報告

1 会員の異動

第2部会員 黒川 清氏の定年による退職に伴い、その後任として、^{ひび}日比 ^{としふみ}紀文氏（慶應義塾大学教授）が平成18年11月5日付けで会員に任命された。

2 審議付託等

件 名	申 請 者	審議・付託先
第13回アジア太平洋リウマチ学会の後援について	第13回アジア太平洋リウマチ学会会長	第二部
第44回日本伝熱シンポジウムの後援について	社団法人 日本伝熱学会会長	第三部
人間－生活環境系学会第30周年記念シンポジウムの後援について	人間－生活環境系学会会長	第二部 第三部
「デジタル巨人の肩の上に立つ」機関リポジトリ、e-サイエンス、および学術コミュニケーションの将来に関する国際シンポジウムの後援について	国立情報学研究所長	第三部
GSC-AON2007の後援について	グリーン・サステイナブルケミストリーネットワーク会長	第三部

3 賞等の推薦

件 名	照 会 先	備 考
世界食糧賞	各部	照会中
Volvo 環境賞	各部	推薦見送り

4 会長等出席行事

月 日	行 事 等	対 応 者
11月 9日	独立行政法人日本学術振興会に関する連絡会（第3回）	金澤会長、鈴木副会長、（科学者委員会学術体制分科会）谷口委員長、井田副委員長、小原幹事、西ヶ廣事務局長
11月15日	学術と政策に関する意見交換会（第2回）	金澤会長、浅島副会長、鈴木副会長、広渡第一部部長、北島第二部副部長、小林第三部副部長、西ヶ廣事務局長

11月16日	総合科学技術会議と日本学術会議の連携強化の在り方に関する懇談会 (第5回)	金澤会長、浅島副会長、 鈴木副会長、西ヶ廣事務局長
--------	--	------------------------------

5 日本学術会議主催公開講演会の開催

日本学術会議主催公開講演会「博物館が危ない！美術館が危ない！ー指定管理者制度・公共サービス改革法の落とし穴ー」を11月4日（土）に東京大学理学部小柴ホールにて開催した。

6 産学官連携サミットの開催

内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、日本経済団体連合会、日本学術会議主催「第6回産学官連携サミット」が、11月20日（月）赤坂プリンスホテルにおいて開催された。

7 委員会委員の辞任

日本学術会議会則第28条第2項の規定により、下記委員会等に所属していた委員の辞任が同委員会において承認されましたので、報告します。

第20期 国際委員会 国際会議主催等検討分科会
岩井 克人（平成18年11月2日付）
臨床医学委員会 身体機能回復分科会
桐野 高明（平成18年7月26日付）
基礎生物学委員会・農学基礎委員会・生産農学委員会・
基礎医学委員会・臨床医学委員会合同 IUMS 分科会
中西 友子（平成18年11月13日付）
本庶 佑（平成18年11月13日付）

第2. 各部・各委員会報告

1 機能別委員会の開催とその議題

(1) **科学者委員会** (第15回) (11月13日) 持ち回り会議

- ① 日本学術会議協力学術研究団体規程の改正について

(2) **科学者委員会 広報分科会** (第13回) (11月8日)

- ① 前回 (9/27) の議事要旨

- ② 今後の編集方針

- ・ 表紙デザイン (人物掲載) (案)
- ・ 原稿依頼・校了等進捗状況
- ・ 2月号以降の特集
- ・ 各コーナー執筆者の推薦

- ③ その他 (今後の会議日程の確認等)

(3) **科学者委員会 学協会の機能強化方策検討等分科会** (第1回) (11月10日)

- ① 委員長互選及び挨拶 ② 副委員長、幹事の指名 ③ アンケート調査項目 ④ ヒアリング対象団体の選定方法 ⑤ その他

(4) **国際委員会** (第10回) (11月9日)

- ① 代表派遣 ② 加入団体の見直し ③ 持続可能な社会のための科学と技術に関する国際会議 ④ アジア学術会議 ⑤ AASSREC ⑥ ICSU 分担金構造検討会 ⑦ IAC シンポジウム ⑧ ICSU Young Scientists Conference 2007 ⑨ 日カナダ女性研究者交流事業 ⑩ 今後の国際委員会予定 ⑪ その他

(5) **国際委員会 アジア学術会議分科会** (第7回) (11月2日)

- ① 新委員長及び各委員の自己紹介 ② 「第7回アジア学術会議」について ③ 「第21回太平洋学術会議」の進捗について ④ 榊委員のアジア学術会議分科会辞任のご要望について (承認済み) ⑤ その他

(6) **国際委員会 AASSREC 等分科会** (第6回) (年11月2日)

- ① 第17回AASSREC総会 (2007年9月27日～9月30日、名古屋) の開催について
② IFSSO2006年ワークショップ (2006年10月10日～14日、フィリピン) への派遣についての報告 ③ その他

2 分野別委員会の開催とその議題

第一部関係

(1) **法学委員会** (第4回) (10月27日)

- ① 連携会員の分科会の所属について ② 分科会の活動について ③ その他

(2) **社会学委員会 社会理論分科会** (第1回) (10月28日)

①役員の選出について ②分科会の活動方針について ③その他

(3) **社会学委員会 少子高齢社会分科会** (第1回) (10月29日)

①役員の選出について ②分科会活動の方針について ③その他

(4) **社会学委員会 社会福祉学分科会** (第1回) (11月6日)

①社会福祉学分科会の活動方針と活動内容について(案) ②役職について ③社会福祉系学会連絡協議会の位置づけについて(案) ④次回以降の日程について(案) ⑤その他

(5) **社会学委員会** (第6回) (11月10日)

①協力学術研究団体との連携について ②今後の委員会活動について ③その他

(6) **社会学委員会 ジェンダー学分科会** (第1回) (11月14日)

①役員の選出 ②分科会活動並びに審議事項に関する意見交換 ③次回の予定について ④その他

(7) **言語・文学委員会** (第7回) (11月15日)

①分科会の運営について ②その他

(8) **地域研究委員会 人類学分科会** (第3回) (11月20日)

①中等教育(中学・高校教育)における、文化人類学の可能性 ②シンポジウム計画 ③IUAE Sの学術会議対応 ④その他

第二部関係

(1) **健康・生活科学委員会 子どもの健康分科会** (第3回) (10月30日)

①幹事(1名)の選出について ②「子どもの健康」の現状と課題について(前回の続き) ③今後の進め方とスケジュールについて ④その他

(2) **健康・生活科学委員会・歯学委員会合同 禁煙社会の実現分科会**

(第4回) (10月30日)

①財務省理財局総務課たばこ塩事業室 川合靖洋 室長との意見交換 ②その他

(3) **健康・生活科学委員会 健康・スポーツ科学分科会** (第3回) (10月31日)

①委員長、副委員長の継続確認と幹事の選任について ②第20期日本学術会議 健康・スポーツ科学分科会の活動について等) ③関連学会との連携について ④その他

(4) **臨床医学委員会 臨床系大学院分科会** (第2回) (10月31日)

①臨床系大学院の実質化と後期臨床研修及び専門医の整合性について ②ライフサイエンスを担う医療系科学者の養成の観点から見た臨床系大学院のあり方について

③その他

(5) 農学基礎委員会 農業生産環境工学分科会 (第3回) (11月9日)

- ①シンポジウムの開催について ②対外報告の具体化 (分担、執筆等) について
③「人工降雨」以外の今後の活動・提言課題について ④その他

(6) 農学基礎委員会 農業と環境分科会 (第3回) (11月9日)

- ①シンポジウムの開催について ②対外報告の具体化 (分担、執筆等) について
③その他

(7) 生産農学委員会 畜産学分科会 (第3回) (11月9日)

- ①シンポジウムの開催について ②今後の畜産学分科会の活動方針について ③その他

(8) 臨床医学委員会 終末期医療分科会 (第2回) (11月9日)

- ①新委員紹介 ②尊厳死、リビングウィルについて ③その他

(9) 農学基礎委員会 農業情報システム学分科会 (第2回) (11月9日)

- ①経過報告 (第1回分科会議事録承認を含む) について ②幹事の選出について
③分科会の活動方針・目標について ④分科会の運営方法について ⑤その他

(10) 農学基礎委員会 水問題分科会 (第4回) (11月10日)

- ①シンポジウムの開催について ②その他

(11) 農学基礎委員会 地域総合農学分科会 (第2回) (11月10日)

- ①シンポジウムの開催について ②新しい分科会委員の参加について ③その他

(12) 基礎生物学委員会・農学基礎委員会・生産農学委員会・基礎医学委員会
・臨床医学委員会合同 IUMS分科会 (第2回) (11月13日)

- ①副委員長、幹事の指名について ②活動方針について ③IUM2011札幌に
向けた準備状況について ④委員の辞任について ⑤その他

(13) 基礎医学委員会・健康・生活科学委員会合同パブリックヘルス科学分科会
(第2回) (11月14日)

- ①副委員長及び幹事の選出について ②今後の方針と目標設定について ③その他

(14) 生産農学委員会 獣医学分科会 (第1回) (11月14日)

- ①委員長、副委員長、幹事の選出について ②分科会の活動方針の審議について
③その他

(15) 基礎生物学委員会・応用生物学委員会合同 自然史・古生物学分科会
(第1回) (11月17日)

- ①委員長、副委員長、幹事の選出について ②今年度の分科会の活動内容について

③その他

(16) 歯学委員会 (第7回) (11月20日)

①今後の活動について ②その他

(17) 歯学委員会 基礎系歯学分科会 (第2回) (11月20日)

①今後の活動について ②その他

(18) 歯学委員会 臨床系歯学分科会 (第2回) (11月20日)

①今後の活動について ②その他

(19) 歯学委員会 病態系歯学分科会 (第2回) (11月20日)

①今後の活動について ②その他

(20) 歯学委員会 歯学教育分科会 (第2回) (11月20日)

①今後の活動について ②その他

(21) 臨床医学委員会 医療制度分科会 (第2回) (11月22日)

①幹事(1名)の選出 ②意見交換 ③その他

第三部関係

(1) 環境学委員会 (第5回) (11月1日)

①シンポジウムについて ②今後の活動について ③その他

(2) 総合工学委員会 拡大役員会 (第2回) (11月2日)

①分科会の設置について ②小委員会の設置について ③その他

(3) 情報学委員会 ユビキタス空間情報社会基盤分科会 (第2回) (11月8日)

①課題提起

- ・イノベーション基盤としての空間情報社会基盤 坂村 健
- ・ユビキタス社会基盤における空間情報の課題 岡部篤行
- ・空間情報社会基盤における空間と情報と人の接点 森田 喬

②ディスカッション ③その他

(4) 環境学委員会 自然環境保全再生分科会 (第1回) (11月9日)

①委員長等の選出について ②分科会の活動方針について ③その他

(5) 総合工学委員会・土木工学・建築学委員会合同 WFEO分科会

(第3回) (11月14日)

①WFEO 分科会委員長及び日本工学会国際委員会委員長挨拶

②委員紹介 ③日本の資源について ④WFEO Executive Council Meeting
出席報告 ⑤CIC at WFEO World Congress 出席報告 ⑥その他

(6) 物理学委員会 素粒子物理学・原子核物理学分科会 (第2回) (11月16日)

- ①原子核物理学等の現状について
 - ・高エネルギー物理学について
 - ・宇宙物理学について
 - ・原子核物理学について
- ②今後の進め方について ③その他

(7) 健康・生活科学委員会・環境学委員会合同 環境リスク分科会

(第1回) (11月17日)

- ①委員長、副委員長及び幹事の選出 ②第20期(平成18,19年度,20年度任期期間まで)の行動計画と運営方針などの審議 ③その他

3 課題別委員会の開催とその議題

(1) 地球規模の自然災害に対して安全・安心な社会基盤の構築委員会

地球規模の自然環境の変化と自然災害の予測分科会 (第5回) (10月27日)

- ①気候変動による沿岸災害の増加ー日本の現状ーについて
(防災科学技術研究所 岩崎伸一氏 講演)
- ②アジア域の大気汚染について (九州大学 鵜野伊津志氏 講演)
- ③報告書目次案について ④その他

(2) 学術とジェンダー委員会 (第9回) (10月30日)

- ①シンポジウムについて ②本委員会の報告書等について ③その他

(3) イノベーション推進検討委員会 (第1回) (10月30日)

- ①本委員会設置趣旨説明 ②委員長、副委員長、幹事の選出 ③イノベーションを巡る内外の状況について ④主要な論点について ⑤会員、連携会員、学協会からの意見募集について ⑥その他

(4) 学術・芸術資料保全体制検討委員会 (第7回) (11月4日)

- ①公開講演会について ②その他

(5) 学術・芸術資料保全体制検討委員会 (第8回) (11月6日)

- ①報告書案について ②その他

(6) 科学者コミュニティと知の統合委員会 (第4回) (11月6日)

- ①村上陽一郎委員からの報告 ②廣瀬和子委員からの報告 ③後藤俊夫委員からの報告 ④World Knowledge Dialogue 報告 ⑤報告書目次案について ⑥その他

(7) 教師の科学的教養と教員養成に関する検討委員会 (第6回) (11月13日)

- ①教師の科学的教養 中間報告について ②その他

(8) 子どもを元気にする環境づくり戦略・政策検討委員会 (第5回) (11月14日)

①報告書の目次、骨子、執筆分担について ②その他

(9) 研究評価の在り方検討委員会（第2回）（11月14日）

①諸外国の省庁や研究課題の評価について

・NSFを中心とした研究課題評価について

（日本学術振興会総務部長 久保真季氏 講演）

②その他

(10) 地球規模の自然災害に対して安全・安心な社会基盤の構築委員会拡大役員会

（第5回）（11月14日）

①各分科会からの報告 ②報告書骨子案について ③その他

(11) 地球規模の自然災害に対して安全・安心な社会基盤の構築委員会

地球規模の自然環境の変化と自然災害の予測分科会（第6回）（11月15日）

①火山噴火予知について （東京大学地震研究所 藤井 敏嗣 氏 報告）

②報告書案について ③その他

(12) 学術・芸術資料保全体制検討委員会（第9回）（11月20日）

①声明（案）について ②その他

(13) イノベーション推進検討委員会（第2回）（11月21日）

①会員・連携会員、学協会からの意見募集について ②推薦すべきイノベーションについて ③その他

第3 総合科学技術会議報告

1 本会議

＊第60回 10月27日

- (1) 今後の科学技術政策の重点課題について
- (2) 平成19年度概算要求における科学技術関係施策の優先順位付けについて
- (3) 独立行政法人、国立大学法人等の科学技術関係活動（平成17事業年度）に関する所見について
- (4) 最近の科学技術の動向
- (5) その他

＊第61回 11月21日

- (1) 科学技術連携施策群の成果及び今後の課題と進め方（中間報告）について
- (2) 平成19年度科学技術関係予算の編成に向けて
- (3) 平成18年度における大規模研究開発の事前評価について
- (4) 「ヒトES細胞の樹立及び使用に関する指針について」の改正について
- (5) 最近の科学技術の動向について
- (6) 世界トップレベルの研究拠点の構築について
- (7) その他

2 専門調査会

＊第60回評価専門調査会 11月13日

- (1) 平成18年度における大規模研究開発の事前評価について
- (2) その他

3 総合科学技術会議有識者議員会合

- ・ 11月 8日 ＊ 会長出席
- ・ 11月16日 ＊ 会長出席
- ・ 11月22日 ＊ 会長出席

審 議 事 項

(対外報告)

- 提案 6 学術とジェンダー委員会報告
「提言：ジェンダー視点が拓く学術と社会の未来」 P. 1

(派遣)

- 提案 7 平成 18 年度代表派遣(平成 19 年 1～3 月実施分) P. 2
提案 8 第 1 回ウブントゥ RCE 推進委員会への会員の派遣 P. 4

(日本学術会議主催会議等)

- 提案 9 公開シンポジウム「人文社会科学の役割と責任を問う」の開催 P. 6
提案 10 薬学教育六年制元年記念シンポジウム
「新しい薬学教育のめざすところ」の開催 P. 7
提案 11 IYPE シンポジウム「国際惑星地球年 2007～2009」(仮題)の開催 P. 9
提案 12 シンポジウム「21 世紀の社会における学協会への期待」
ー「日本化学連合(仮称)」創設に向けてーの開催 P. 10
提案 13 公開講演会「自然環境資源を活かした市民協働」ー自然から学ぶ
環境市民ーの開催 P. 11
提案 14 「国際極年」開幕シンポジウム「国際極年におけるアジアの連携」
の開催 P. 13

(後援)

- 提案 15 国内会議の後援 P. 14
提案 16 国際会議の後援 P. 15

6	
幹事会	29

提 案

学術とジェンダー委員会報告

「提言：ジェンダー視点が拓く学術と社会の未来」

- 1 提案者 学術とジェンダー委員会委員長
- 2 議 案 標記について下記のとおり承認すること。
- 3 提案理由 本委員会のこれまでの審議結果を別添のとおり取りまとめたので、これを外部に公表したいため。

記

日本学術会議会則第二条第三号の
「対外報告」として取り扱うこと

7	
幹事会	29

提 案

平成18年度代表派遣（平成19年1～3月実施分）

- 1 提案者 会長
- 2 議 案 標記について、別紙のとおり実施すること。
- 3 提案理由 「日本学術会議の行う国際学術交流事業の実施に関する内規」第19条の規定に基づくものである。

<参考>「日本学術会議の行う国際学術交流事業の実施に関する内規」（抄）

（派遣者の選考）

- 第19条** 会長及び関係委員長は、幹事会で承認された派遣実施計画に基づき、代表を派遣すべき会議等（以下「代表派遣会議」という。）のそれぞれの内容等に応じて、学術会議会員（以下「会員」という。）の中から適任者を選考し、様式第7に定める代表派遣会議候補者推薦書により派遣候補者を会長に推薦するものとする。ただし、学術会議連携会員（以下「連携会員」という。）の中に適任者があると認められる場合は、その者を候補者として推薦することができる。
- 2 会長は、前項の規定により推薦された派遣候補者について、原則として代表派遣会議が開始される日の1か月前までに開かれる幹事会の議決を経た上、学術会議の代表として派遣される者（以下「派遣者」という。）として派遣するものとする。

番号	国際会議等	派遣日数		開催地及び用務地	派遣候補者 (職名)	備考
		会期分	計			
63	気候変動国際協同研究計画(WCRP) 第19回GEWEX科学先導委員会	1月22日 ～ 1月24日	3 日	ホノルル ----- 米国	松本 淳 特任連携会員 東京大学大学院地球惑星科学専攻助教授	地球惑星科学委員会国際対応分科会 第2区分
64	第35回地質科学国際研究計画(IGCP) 本部理事会	2月15日 ～ 2月16日	2 日	パリ ----- フランス	土 隆一 特任連携会員 静岡大学名誉教授	地球惑星科学委員会国際対応分科会 第2区分
65	第35回地質科学国際研究計画(IGCP) 本部理事会	2月15日 ～ 2月16日	2 日	パリ ----- フランス	波田 重熙 特任連携会員 神戸女子大学教授	地球惑星科学委員会国際対応分科会 第2区分
66	活動的造山帯における伏在逆断層と歪み分配に関する ワークショップ	3月5日 ～ 3月9日	5 日	サントドミンゴ ----- ベネズエラ	奥村 晃史 連携会員 広島大学大学院文学研究科	地球惑星科学委員会国際対応分科会 第2区分
67	国際北極科学委員会(IASC)評議会	3月14日 ～ 3月21日	8 日	ダートマス ----- 米国	神田 啓史 特任連携会員 国立極地研究所	地球惑星科学委員会国際対応分科会 第2区分

8	
幹事会	29

提 案

第1回ウブントゥ RCE 推進委員会への会員の派遣

- 1 提 案 者 国際委員会委員長
- 2 議 案 標記について、下記のとおり承認すること。
- 3 提案理由 ウブントゥ連合の目的の1つである持続可能な開発のための教育を推進するための地域の拠点作り (Regional Centre of Expertise: RCE)に関する第1回ウブントゥ RCE 推進委員会へ別紙依頼のとおり会員を派遣することとしたい。



UNITED NATIONS
UNIVERSITY

UNU-IAS

Institute of Advanced Studies

6F, International Organizations Center Pacifico-Yokohama, 1-1-1 Minato Mirai
Nishi-ku, Yokohama 220-0012, Japan

国際連合大学高等研究所
〒220-0012 横浜市西区
みなとみらい 1-1-1

パシフィコ横浜
横浜国際協力センター6F

Tel: +81-3-5467-2323
Fax: +81-3-5467-2324
URL: <http://www.ias.unu.edu>

2006年11月7日

日本学術会議
会長 金澤 一郎 様

国際連合大学高等研究所
所長 A.H. ザクリ



ウブントゥ RCE 推進委員会への委員の派遣について（依頼）

平素より、国連大学の業務に関しましては、種々ご協力いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、国連大学高等研究所では、持続可能な開発のための教育（ESD）を推進するため、世界各地において ESD に関する地域の拠点（RCE）作りを進めているところです。現在、世界各地より RCE 認定申請書が当研究所に届いており、これらの申請書を審査するための第1回ウブントゥ RCE 推進委員会を下記のとおり開催することとしております。

アジア学術会議の黒川清前会長にも同委員会の委員を務めていただいているところですが、12月5日の委員会には、黒川先生より国立医薬品食品衛生研究所の春日文子先生に代理として出席していただきたいとのご指名をいただいています。

つきましては、春日先生を標記委員会に派遣いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

記

- | | | |
|--------|------------------|------------|
| 1.開催日時 | 2006年12月5日（火） | 9:00～17:00 |
| 2.開催場所 | パリ・UNESCO 本部 会議室 | |

（本件担当：国連大学高等研究所 上席研究員 鈴木 克徳／名執 芳博
電話：045（221）2311（鈴木）2318（名執）
E-mail: k_suzuki@ias.unu.edu / natori@ias.unu.edu）

9	
幹事会	29

公開シンポジウム「人文社会科学の役割と責任を問う」の開催

- 1 提案者 第一部部長
- 2 議 案 標記シンポジウムを下記のとおり開催すること。

記

- 1 主 催 日本学術会議第一部、関西学院大学
- 2 日 時 2006年12月14日（木）13:30～17:30
- 3 場 所 ホテル阪急インターナショナル 4階 月華の間
- 4 拡大役員会 第一部拡大役員会を開催する。
- 5 プログラム

開会の挨拶 鈴木興太郎（一橋大学経済研究所教授、日本学術会議副会長）

広渡 清吾（東京大学社会科学部研究科教授、日本学術会議第一部部長）

司 会 江原由美子（首都大学東京都市教養学部教授、日本学術会議第一部幹事）

趣 旨 説 明 佐藤 学（東京大学大学院教育学研究科教授、日本学術会議第一部副部長）

報 告 者

高橋 義人（京都大学大学院人間・環境学研究科教授、日本学術会議連携会員）

「文学と人生観 ―諸学の基礎となる学―」

小林 傳司（大阪大学コミュニケーションデザイン・センター教授、日本学術会議連携会員）

「科学技術に踏み込む人文社会科学」

塩沢 由典（大阪市立大学大学院創造都市研究科教授、日本学術会議連携会員）

「危機管理における社会科学の役割／稀な異常事態にいかに対応するか」

竹内 洋（関西大学教授、日本学術会議連携会員）

「人文社会科学の下流化・オタク化と大衆的正統化」

コメンテーター

唐木 英明（東京大学名誉教授、日本学術会議第二部部長、獣医学）

「安全・安心研究分野からの期待」

海部 宣男（自然科学研究機構国立天文台名誉教授、日本学術会議第三部部長、天文学）

「天文学・基礎科学と人文社会科学」

閉会の挨拶 小林 良彰（慶應義塾大学法学部教授、日本学術会議第一部幹事）

1 0	
幹事会	2 9

提 案

薬学教育六年制元年記念シンポジウム

「新しい薬学教育のめざすところ」の開催

- 1 提案者 薬学委員会委員長
- 2 議 案 標記シンポジウムを下記のとおり開催すること。

記

- 1 主 催 日本学術会議薬学委員会、日本薬学会
- 2 日 程 平成 19 年 1 月 15 日（月） 9：30～17：00
- 3 場 所 長井記念ホール（渋谷区渋谷 2-12-15）
- 4 プログラム

9:30

開会の挨拶

学術会議での薬学委員会の活動：鶴尾 隆（癌研究会癌化学療法センター所長、
日本学術会議第二部会員、同薬学委員会委員長）

本シンポジウムの開催趣旨：真弓忠範（神戸学院大学学長、日本学術会議第二部会員、
同薬学委員会副委員長）

9:45

第 1 部：医療人 G P がめざす新しい薬学教育

司会：橋田 充（京都大学大学院薬学研究科、日本学術会議連携会員）
太田 茂（広島大学大学院医歯薬総合研究科、日本学術会議連携会員）

チーム医療の有用性を実感する参加型学習

木内祐二（昭和大学薬学部）

臨床能力をはぐくむ地域体験型学習とその支援

大和田栄治（北海道薬科大学）

先端医療の育・創薬を先導する薬剤師育成

佐治英郎（京都大学大学院薬学研究科）

全国的薬学教育グリッドの構築

宮崎 智（東京理科大学薬学部）

11:25

第 2 部：大学での医療人養成教育の課題

司会：武田 健（東京理科大学薬学部、日本学術会議連携会員）
松木則夫（東京大学大学院薬学系研究科、日本学術会議連携会員）

実務薬剤師が望む理想的な教育 1

高橋 寛（日本薬剤師会）

実務薬剤師が望む理想的な教育 2

加賀谷 肇（日本病院薬剤師会）

12:05

昼食

13:10

医学教育が直面する課題とその対応（50分）

北村 聖（東京大学医学教育国際協力研究センター教授）

14:00

6年制薬学教育での「研究と教育のバランス」1

山元 弘（大阪大学大学院薬学研究科教授、日本学術会議連携会員）

6年制薬学教育での「研究と教育のバランス」2

望月真弓（北里大学薬学部教授、日本学術会議連携会員）

14:40

休憩

14:50

第3部：（パネル討論）

新しい薬学を社会へアピールするために解決すべき課題

司会：真弓忠範（神戸学院大学学長、日本学術会議第二部会員、

同薬学委員会副委員長）

入江徹美（熊本大学大学院医学薬学研究部教授、日本学術会議連携会員）

工藤一郎（昭和大学薬学部教授、日本学術会議連携会員）

パネリスト

実務薬剤師の立場から：

児玉 孝（日本薬剤師会）

伊賀立二（日本病院薬剤師会）

私立大学の立場から：

平井みどり（神戸薬科大学）

井上圭三（帝京大学薬学部）

国立大学の立場から：

中島憲一郎（長崎大学大学院医歯薬学総合研究科、日本学術会議連携会員）

乾 賢一（京都大学医学部、日本学術会議連携会員）

医師の立場から：

福田康一郎（千葉大学大学院医学研究院）

16:50

閉会のことば： 柴崎正勝（東京大学大学院薬学系研究科、

日本学術会議第二部会員）

1 1	
幹事会	2 9

提 案

IYPE シンポジウム「国際惑星地球年 2007～2009」（仮題）の開催

1. 提案者 地球惑星科学委員会委員長

2. 議 案 標記シンポジウムを下記のとおり開催すること。

記

1. 主 催 日本学術会議地球惑星科学委員会

2. 共 催 産業技術総合研究所、海洋研究開発機構、国立科学博物館（予定）

3. 日 時 平成19年1月22日（月）15：00－17：00

4. 場 所 国連大学ウタントホール（予定）

5. 議事次第

趣 旨： 国際地質科学連合とユネスコが中核となり，国連国際年2008を中心とする
2007～2009年の3ヶ年にかけて実施される「国際惑星地球年」の認知度を高め，
そのスタートを宣言し，日本の取り組みを紹介する。

プログラム：（予定）

15:00 開会

15:00 国際惑星地球年開始の宣言と日本における取り組み紹介
... IYPE小委員会委員長

15:20 祝辞等

（ユネスコ国内委委員長，日本学術会議会長，地惑連合議長など予定）

15:40 講演「国際惑星地球年のねらい」

... deMulder国際惑星地球年議長

16:30 IYPEに期待することなど

（他国際年国内委，学協会会長など予定）

17:00 閉会

1 2	
幹事会	2 9

提 案

シンポジウム「21 世紀の社会における学協会への期待」
－「日本化学連合（仮称）」創設に向けて－の開催

1. 提案者 化学委員会委員長
2. 議 案 標記シンポジウムを下記のとおり開催すること。

記

1. 主 催 日本学術会議化学委員会
2. 共 催 日本化学連合創設準備委員会、化学技術戦略推進機構
3. 日 時 平成19年1月23日（火）13：00－19：00
4. 場 所 化学会館ホール（千代田区神田駿河台1－5）
5. 議事次第

趣 旨：

グローバル化の時代を迎えて、地球的な課題への認識が深まるとともに、化学に関連する科学・技術に対して、単なる応用、技術開発を超えた寄与が期待されるようになってきました。あらゆる物質・エネルギー循環に責任をもった発言ができるのは化学者および化学技術者です。日本社会の啓発、世界的な課題への正しい取り組み方の提案、などの役割の果たせる化学者集団の構築が必要になってきています。すなわち、先端的な専門性がますます重視される一方、社会の期待に応える俯瞰的な化学を育てる必要にもせまられていることになります。そのためにまずは、現存する多数の化学関連学協会が連携して、時代の要請に応えられるように、より高い水準の貢献ができる体制をつくる必要があります。本シンポジウムは、その第一歩として企画されたもので、各界の方々に講演をお願いしました。

プログラム：

- ・ 挨拶 岩村 秀（日本化学連合創設準備委員会委員長）
- ・ 講演（講演 40 分）
 1. 地球における循環を解き明かすための総合化学をいかに構築するか：「社会のための科学」への戦略的アプローチ（東京工芸大大学院工学研究科教授）安部明廣
 2. 科学・イノベーション・社会－学協会への期待（科学技術振興機構社会技術開発センター長）有本建男
 3. 大学・大学院の教育と人材育成：国、産業界、学協会に望むこと（日本学術会議化学委員会委員長／東京大学大学院理学系研究科長）岩澤康裕
 4. 日本化学連合（仮称）への産業界からの期待（化学技術戦略推進機構常務理事）染宮昭義
 5. 壁をこわそう（毎日新聞科学環境部記者）元村有希子

1 3	
幹事会	2 9

提 案

公開講演会「自然環境資源を活かした市民協働」 — 自然から学ぶ環境市民 — の開催

- 1 提案者 地域研究委員会委員長
環境学委員会委員長
地球惑星科学委員会委員長
- 2 議 案 標記シンポジウムを下記のとおり開催すること。

記

- 1 主 催 日本学術会議地域研究委員会・環境学委員会・地球惑星科学委員会合同
IHDP 分科会、日本環境共生学会
- 2 協 力 日本計画行政学会、資産政策評価学会（協力を依頼予定）
- 3 後 援 環境省、文部科学省
- 4 日 時 平成18年12月9日（土）13:30-18:00
- 5 場 所 千葉商科大学1号館1103教室
- 6 分科会の開催 IHDP 分科会を千葉商科大学において開催
- 7 次 第

開催趣旨

IHDP は地球の自然生命系の変動におよぼす人間活動の影響および環境政策の効果の研究に関する国際共同研究プログラムであるが、今回、IHDP 分科会は「環境市民の育成活動の実態と ESD10 に貢献するために日本は何をなすべきか」を主題として、日本環境共生学会（第19期までの登録団体）と共に、これからの環境学習活動の充実方策を求める。

総合司会 山本佳世子（電気通信大学助教授日本学術会議特任連携会員）

開会挨拶 熊田禎宣（千葉商科大学教授・日本学術会議 IHDP 分科会委員長）

(1) 基調講演

13:40-14:50 「環境市民を育成するリーダーづくり」

原科幸彦（東京工業大学教授）

三橋規宏（千葉商科大学教授）

(2) 報告

14:50-17:30 「市民活動の持続可能性とその支援」

朝倉暁生（東邦大学助教授）

「地域協働による一般廃棄物処理」

石井邦夫（株式会社市川環境エンジニアリング代表）

「環境資源＝観光資源の理念による地域づくり」

山本佳世子

「釧路湿原の環境保全による環境市民づくり」

渋谷晃太郎（環境省北海道地方環境事務所保全統括官釧路
所長）

「ESSP の活動報告」

山形与志樹（国立環境研究所、日本学術会議特任連携会員）

(3) 討論と総括

17:30-17:50 岡本耕平（名古屋大学教授、日本学術会議連携会員）

(4) 閉会挨拶

17:50-18:00 氷鮑揚四郎（筑波大学大学院教授、日本学術会議特任連携会員）

1 4	
幹事会	2 9

提 案

「国際極年」開幕シンポジウム「国際極年におけるアジアの連携」の開催

1. 提案者 地球惑星科学委員会委員長
2. 議 案 標記シンポジウムを下記のとおり開催すること。

記

1. 主 催 日本学術会議地球惑星科学委員会
2. 共 催 国立極地研究所
3. 日 時 平成19年3月1日（木）8：45－17：00
4. 場 所 日本学術会議講堂
5. 議事次第

趣 旨： 国際極年(IPY)2007-2008が2007年3月1日から開始される。日本の研究者数百人が80件近くのIPY研究計画（全体では400件弱）に参画している。また、極域研究において比較的后発国である他のアジア諸国からも、同じような形でIPY参加が表明されている。

そういった研究計画の大部分は大規模であり、また多国間国際共同・学際計画であるため、横の連絡は必ずしも密とは言えない。国際極年の開始にあたり、関連する計画が相互に協力できるよう、実施計画について情報交換の場を設けるために、国際シンポジウムを企画した。

少なくともアジア地域では、かかる計画間連携を深めたいという期待から上記のシンポジウム名称を提案したが、非アジア諸国との協力も必須であり、アジア以外の国からの参加も歓迎する。

プログラム：(予定)

- 1 開会（8：45）
- 2 IPY開幕（9：00）
- 3 基調講演
- 4 研究計画紹介
- 5 討議
- 6 閉会（17：00）

1 5	
幹事会	2 9

提 案

国内会議の後援

- 1 提 案 者 会 長
- 2 議 案 後援の依頼について回答すること。
- 3 提案理由 下記の会議について、後援の依頼があり、関係する部に審議付託した結果を下記のとおり回答することとしたい。

記

○ 後援する

名 称 等	申 請 者	審議付託先
日本地球惑星科学連合 2007 年大会 ① 主催：日本地球惑星科学連合 ② 会期：平成 19 年 5 月 19 日～24 日 ③ 場所：幕張メッセ国際会議場	日本地球惑星科学連合代表	第三部
第 13 回アジア太平洋リウマチ学会 ① 主催：第 13 回アジア太平洋リウマチ学会組織委員会 ② 会期：平成 20 年 9 月 23 日～27 日 ③ 場所：パシフィコ横浜会議センター	第 13 回アジア太平洋リウマチ学会会長	第二部
人間－生活環境系学会第 30 周年記念シンポジウム ① 主催：人間－生活環境系学会 ② 会期：平成 18 年 12 月 1 日～3 日 ③ 場所：横浜国立大学教育文化ホール	人間－生活環境系学会会長	第二部 第三部
「デジタル巨人の肩の上に立つ」機関リポジトリ、e－サイエンス、および学術コミュニケーションの将来に関する国際シンポジウム ① 主催：国立情報学研究所 ② 会期：平成 18 年 12 月 18 日～19 日 ③ 場所：都市センターホテル	国立情報学研究所長	第三部

1 6	
幹事会	2 9

提 案

国際会議の後援

1 提 案 者 会 長

2 議 案 国際会議を後援すること。

3 提案理由 下記の国際会議について後援の申請があり、「日本学術会議の
行う国際学術交流事業の実施に関する内規」第38条に基づき、
国際委員会(主催等検討分科会)において審議を行ったところ、
適当である旨の回答があったので、後援することとしたい。
なお、国際会議の概要は、別紙のとおりである。

記

第17回太陽光発電国際会議(PVSEC-17)

後援を希望する国際会議の概要

会 議 の 名 称	和文：第 1 7 回太陽光発電国際会議 英文：17 th International Photovoltaic Science and Engineering Conference (略称 PVSEC-17)										
開 催 時 期	平成 1 9 年 1 2 月 3 日 ～ 1 2 月 7 日 （5 日間）										
開 催 場 所	福岡県（福岡国際会議場）										
主 催 団 体	第 1 7 回太陽光発電国際会議組織委員会										
共 催 団 体	社団法人 応用物理学会 社団法人 電気学会 財団法人 名古屋産業科学研究所										
母 体 団 体 等	応用物理学会の承認を受けて、第 1 7 回太陽光発電国際会議組織委員会が組織されている。										
参加予定者数 [参加予定国]	国外 550 人 国内 450 人 計 1000 人 [5 0 ャ国]										
会 議 内 容	基調講演，口頭発表，ポスター発表等										
会 議 議 事 録 等	本国際会議終了後に、報告書を提出する予定										
開催経費の財源	<table> <tr> <td>参 加 費</td><td>41,250 千円</td></tr> <tr> <td>助 成 金</td><td>5,000 千円</td></tr> <tr> <td>寄 付 金</td><td>18,000 千円</td></tr> <tr> <td>その他</td><td>11,300 千円</td></tr> <tr> <td>計</td><td>75,550 千円</td></tr> </table>	参 加 費	41,250 千円	助 成 金	5,000 千円	寄 付 金	18,000 千円	その他	11,300 千円	計	75,550 千円
参 加 費	41,250 千円										
助 成 金	5,000 千円										
寄 付 金	18,000 千円										
その他	11,300 千円										
計	75,550 千円										
[募 金 団 体]	（窓口となる団体名） （財）名古屋産業科学研究所										
申 請 者	第 1 7 回太陽光発電国際会議組織委員長 山口 真史										
連 絡 責 任 者	第 1 7 回太陽光発電国際会議組織委員会総務委員長 大下 祥雄（豊田工業大学・助教授） TEL052-809-1877 FAX052-809-1879 Email:pvsec17@toyota-ti.ac.jp										

平成18年11月8日
日本学術会議会長
金 澤 一 郎

課題別委員会の対外報告について

10月26日に開催された四役(会長及び副会長3名)会議において、分野横断的、かつ、時事的テーマを扱う課題別委員会の対外報告について、幹事会でのより効率的・効果的な審議を可能にするため、今後、以下のとおり取り扱うこととなりましたので、ご協力をお願いいたします。

〔今後の対応〕

- 幹事会における審議を円滑に進めるため、四役サイドについては、鈴木副会長(政府等との関係担当)に報告案の内容を事前に一読いただき、その了解の下に御提案の手続を進めてください。
- なお、各委員長におかれましては、報告草案の段階で、その内容を鈴木副会長にお示しいただけると幸いです。

○今後の予定

(1) 幹事会

- | | | |
|-----------|----------------|---------|
| ① 第30回幹事会 | 平成18年12月21日(木) | 14:00から |
| ② 第31回幹事会 | 平成19年 1月25日(木) | 14:00から |
| ③ 第32回幹事会 | 平成19年 2月22日(木) | 14:00から |
| ④ 第33回幹事会 | 平成19年 3月22日(木) | 14:00から |
| ⑤ 第34回幹事会 | 平成19年 4月 9日(月) | 総会終了後 |
| ⑥ 第35回幹事会 | 平成19年 4月10日(火) | 総会終了後 |
| ⑦ 第36回幹事会 | 平成19年 4月11日(水) | 委員会終了後 |

(2) 連合部会

- ・ 平成19年 2月13日(火)

(3) 総 会

- ・ 平成19年 4月 9日(月) から11日(水) まで [春の定例総会]

平成19年5月～平成19年12月までの幹事会等日程（案）

平成19年5月	平成19年6月	平成19年7月	平成19年8月	平成19年9月	平成19年10月	平成19年11月	平成19年12月
1（火）	1（金）	1（日）	1（水）	1（土）	1（月）	1（木）	1（土）
2（水）	2（土）	2（月）	2（木）	2（日）	2（火）	2（金）	2（日）
3（木）	3（日）	3（火）	3（金）	3（月）	3（水）	3（土）	3（月）
4（金）	4（月）	4（水）	4（土）	4（火）	4（木）	4（日）	4（火）
5（土）	5（火）	5（木）	5（日）	5（水）	5（金）	5（月）	5（水）
6（日）	6（水）	6（金）	6（月）	6（木）	6（土）	6（火）	6（木）
7（月）	7（木）	7（土）	7（火）	7（金）	7（日）	7（水）	7（金）
8（火）	8（金）	8（日）	8（水）	8（土）	8（月）	8（木）	8（土）
9（水）	9（土）	9（月）	9（木）	9（日）	9（火）	9（金）	9（日）
10（木）	10（日）	10（火）	10（金）	10（月）	10（水）○(総会)	10（土）	10（月）
11（金）	11（月）	11（水）	11（土）	11（火）	11（木）○(総会)	11（日）	11（火）
12（土）	12（火）	12（木）	12（日）	12（水）	12（金）○(総会)	12（月）	12（水）
13（日）	13（水）	13（金）	13（月）	13（木）	13（土）	13（火）	13（木）
14（月）	14（木）	14（土）	14（火）	14（金）	14（日）	14（水）	14（金）
15（火）	15（金）	15（日）	15（水）	15（土）	15（月）	15（木）	15（土）
16（水）	16（土）	16（月）	16（木）	16（日）	16（火）	16（金）	16（日）
17（木）	17（日）	17（火）	17（金）	17（月）	17（水）	17（土）	17（月）
18（金）	18（月）	18（水）	18（土）	18（火）	18（木）	18（日）	18（火）
19（土）	19（火）	19（木）	19（日）	19（水）	19（金）	19（月）	19（水）
20（日）	20（水）	20（金）	20（月）	20（木）○	20（土）	20（火）	20（木）○
21（月）	21（木）○	21（土）	21（火）	21（金）	21（日）	21（水）	21（金）
22（火）	22（金）	22（日）	22（水）	22（土）	22（月）	22（木）○	22（土）
23（水）	23（土）	23（月）	23（木）	23（日）	23（火）	23（金）	23（日）
24（木）○	24（日）	24（火）	24（金）	24（月）	24（水）	24（土）	24（月）
25（金）	25（月）	25（水）	25（土）	25（火）	25（木）○	25（日）	25（火）
26（土）	26（火）	26（木）○	26（日）	26（水）	26（金）	26（月）	26（水）
27（日）	27（水）	27（金）	27（月）	27（木）	27（土）	27（火）	27（木）
28（月）	28（木）	28（土）	28（火）	28（金）	28（日）	28（水）	28（金）
29（火）	29（金）	29（日）	29（水）	29（土）	29（月）	29（木）	29（土）
30（水）	30（土）	30（月）	30（木）	30（日）	30（火）	30（金）	30（日）
31（木）		31（火）	31（金）		31（水）		31（月）

※（注:幹事会開催は午後2時を予定）